

地域別検討協議会学区別検討資料(胆振西学区)

胆振西学区高校配置計画の見込み											
区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの 増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの 増減	
学区内中卒者数	1,333	1,222	1,192	1,201	1,179	1,059	1,044	1,077	▲ 256	▲ 124	
対前年増減	▲ 17	▲ 111	▲ 30	+ 9	▲ 22	▲ 120	▲ 15	+ 33			
室蘭市中卒者数	(567)	(518)	(510)	(526)	(510)	(449)	(441)	(445)	▲ 122	▲ 81	
対前年増減	+ 19	▲ 49	▲ 8	+ 16	▲ 16	▲ 61	▲ 8	+ 4			
登別市中卒者数	(397)	(357)	(358)	(348)	(354)	(311)	(297)	(340)	▲ 57	▲ 8	
対前年増減	▲ 22	▲ 40	+ 1	▲ 10	+ 6	▲ 43	▲ 14	+ 43			
伊達市中卒者数	(272)	(253)	(218)	(241)	(221)	(219)	(203)	(224)	▲ 48	▲ 17	
対前年増減	▲ 12	▲ 19	▲ 35	+ 23	▲ 20	▲ 2	▲ 16	+ 21			
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)～13(2031)年度までの見通し			摘要
	普通	職業	計								
室蘭栄	5		5	0			} 公私比率勘案後 0～1当著 学級に相当する 増	} 公私比率勘案後4年間で2～3 学級に相当する中卒者の減			
単 室蘭清水丘	4		4	23							
総 室蘭東翔	4		4	0							
室蘭工業		工 4	4	66	工▲1						
単 登別青嶺	3		3	0							
中 登別明日	2		2	7							
単 伊達開来	6→5		5	14							
地 虻 田		商 1	1	28							
*壮 警		農 1	1	24							
9校	24→ 23	6	29	162	工▲1						

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校、「中等」は中等教育学校。

注3 学校名の*は市町村立学校。

注4 令和6(2024)年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。

学区の検討事項と現状・課題	
学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、9人の中卒者数の増のほか、市町ごとの中卒者数の状況や、欠員の状況、学校・学科の配置状況なども考慮した検討が必要 令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で124人、特に令和11(2029)年は、最も学校・学級数が多い室蘭市を中心に、周辺市を含め、中卒者が106人と大幅な減少が見込まれることや、欠員の状況、学校・学科の配置状況などを考慮し、室蘭市内及び周辺市町村における圏域での学校・学科の在り方など、再編整備を含めた配置の在り方の検討が必要
○地域の取組を勘案した特例的取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携校について、5月1日現在の第1学年の在籍者数が2年連続20人未満となった場合は、道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携し、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けた上で、再編整備の留保が必要